



- SRI 8610C 本体
- FID 検出器
- オンカラム PTV 注入口
- 昇温カラムオープン
- エアーコンプレッサー内蔵

ナローボア キャピラリー FID GC システムは高分離能キャピラリーカラム分析を行う全ての機能を備えています。また、本システムは GC の一般的応用分野の他に、環境測定あるいは品質管理分野に於いても優れた性能を有します。

本システムに搭載されている OCPTV(On-Column Programmable Vaporization)注入口は通常のコラム用注入口に比べて多量で単純な試料の分析が可能です。従来の加熱スプリット/スプリットレス注入口同様、OCPTV は試料濃縮時の溶媒排出のため、スプリットベントとニードルバルブが装備されていますが、加熱スプリット/スプリットレス注入口のような、急速な溶媒排出がありません。キャリアーガス流量は PeakSimple ソフトで制御されます。

OCPTVはC8以上で沸点の高い揮発性物質をより効果的に分離します。右図のクロマトグラムはC10～C28までのディーゼル溜分の分離です。OCPTV はこのように分析対象物質を分析カラム中央に集中させ、極めてシャープで分離の良い結果が得られます。従来型の加熱スプリット/スプリットレス注入口では1～2ul程度の注入量に対し、OCPTVでは1～20ulを注入出来るため、検出下限値を大幅に低くすることが出来ます。

